

科 目	受 験 生 記 入 欄		(ア)	(イ)
音楽史（全専攻） 2枚のうちの1枚目	科 専攻	声種： 楽器：	受 験 番 号	番

以下の4系列のうち、各自入学願書提出の際に選んだ系列の、各3問題中から2問題を選んで答えなさい。なお音楽文化学専攻の受験生は、4系列12問題中から自由に2問題を選んで答えること。

解答は必ず1問題ごとに別紙1枚（800字、横書き）を用い、冒頭の二マスに選択した問題の記号（A1, B2, C3 など）を明記すること。

◎声楽を中心とする音楽史

A1 非西洋（「異国的なもの」）を描いたり、その要素を採り入れたりした代表的なオペラをいくつか挙げ、そこにおいて、西洋と非西洋の関係性を表現するために音楽がどのように用いられているかに関し述べなさい。

A2 「ドイツ・ロマン主義オペラ」とは何か、具体例を挙げながら論じなさい。

A3 以下から三つを選び、説明しなさい。

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| (1) カンタータ             | (2) プッチーニ《ラ・ボエーム》      |
| (3) 救出オペラ             | (4) モンテヴェルディ《聖母マリアの晩課》 |
| (5) バラード（声楽作品）        | (6) ショスタコーヴィチ《森の歌》     |
| (7) ストラヴィンスキー《エディプス王》 | (8) J.J. ルソー《村の占い師》    |

◎鍵盤を中心とする音楽史

B1 ロマン派から近現代にかけて作曲された重要な二台ピアノのための作品（他楽器を加えたアンサンブルも含む）をいくつか挙げ、それらについて説明しなさい。

B2 19世紀に書かれたピアノ用パラフレーズ作品について、具体例を挙げながら説明しなさい。

B3 以下から三つを選び、説明しなさい。

- |   |                 |                          |
|---|-----------------|--------------------------|
| (1) カンツォーナ                                | (2) ヴィーン式アクション  | (3) 即興曲 <i>impromptu</i> |
| (4) スクリャービン《プロメテウス》                       | (5) 《音価と強度のモード》 | (6) ペダル・ピアノ              |
| (7) C.P.E. バッハ『正しいクラヴィーア奏法についての試論』        |                 |                          |
| (8) ドヴォルジャーク ピアノ三重奏曲 <i>op.90</i> 「ドウムキー」 |                 |                          |

◎管弦打楽器を中心とする音楽史

C1 F. リストが交響詩 (*symphonische Dichtung*) の源流と位置付けた二つの流れについて、交響詩と関連付けながら説明しなさい。

C2 次の都市より三つを選び、そこにおける音楽活動や組織・団体がアンサンブル音楽ないし管弦楽の歴史において果たした役割について述べなさい。

- |            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| (1) ヴェネツィア | (2) パリ    | (3) ドレスデン |
| (4) ライプツィヒ | (5) マンハイム | (6) ロンドン  |

科 目	受 験 生 記 入 欄	
音楽史（全専攻） 2枚のうちの2枚目	科 声種： 専攻 楽器：	受 験 番 号  番

(ア)

(イ)

C3 以下から三つを選び、説明しなさい。

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| (1) イデー・フィクス     | (2) シュトックハウゼン《グルッペン》   |
| (3) セルパン         | (4) ヴァレーズ《砂漠》          |
| (5) 《静かな海と幸運な航海》 | (6) ブリテン《青少年のための管弦楽入門》 |
| (7) トリオ・ソナタ      | (8) 《悲劇『エグモント』のための音楽》  |

◎日本・東洋を中心とする音楽史

D1 日本・東洋の伝統音楽における即興演奏の例を挙げて、それがどのような理論あるいは慣習のもとに行われているかを説明しなさい。

D2 日本・東洋における伝統楽器改良の事例を複数挙げて、その目的と後代への影響を述べなさい。

D3 以下の楽曲から二曲を選び、その特徴と当該の楽曲成立の音楽史上の意義を述べなさい。

- |          |            |              |
|----------|------------|--------------|
| 長唄《老松》   | 雅楽《秋庭歌一具》  | 都山流尺八《湖上の月》  |
| 組踊《二童敵討》 | 三味線組歌《琉球組》 | 山田流箏曲《江の島の曲》 |
| 能楽《翁》    |            |              |